

館長兼芸術総監督おすすめコメント

今年はオリンピックをはじめ、MLBの大谷選手ほか日本人アスリートの活躍に大いに沸いた年でした。その様なアスリートたちのプロフィールを見ると幼い時からそれらの競技に触れていたことがわかります。そこから彼らが後の人生に繋がる環境に囲まれていたことが想像することができます。当劇場が微力ながら取り組んでいることも“良質のものになるべく容易に触れることができる”ことのご提供です。この「0歳からのわくわくオーケストラ」でも良質な音楽と演奏、また劇場空間の体験をご提供いたします。また、「0歳からの」と銘打っております様にどなたにでも体感して頂きたいと願っています。是非劇場へお越しください。

安江正也(東海市芸術劇場 館長兼芸術総監督)



清水醒輝 (指揮)

ヴァイオリンで第57回日本音楽コンクール第1位。増沢賞、特別賞受賞。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽部を共に首席で卒業。ウィーン市立音楽院在学中、同学院オーケストラと共演。欧州各国にてリサイタルを行う。2001年11月まで新日本フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスター。指揮では、キンボー・イシイ氏に師事。国内の主要オーケストラを指揮。他、桐朋学園音楽部非常勤講師、また多数のアマチュアオーケの指導、演奏会など多方面にわたる活動を行っている。

名古屋フィルハーモニー交響楽団 (管弦楽)

日本有数のオーケストラの一つとして、愛知県名古屋市を中心に東海地方の音楽界をリードし続けている。その革新的な定期演奏会のプログラムや、充実した演奏内容で広く日本中に話題を発信し、「名フィル」の愛称で地元では親しまれ、日本のプロ・オーケストラとして確固たる地位を築いている。

2023年4月より、名フィル指揮者・正指揮者を12季務めた川瀬賢太郎が音楽監督に就任。現在の指揮者陣には小泉和裕(名誉音楽監督)、小林研一郎(桂冠指揮者)、モーシェ・アツモン(名誉指揮者)、ティエリー・フィッシャー(名誉客演指揮者)が名を連ねている。また2023年4月には小出稚子が第4代コンポーザー・イン・レジデンスに就任。楽団創立は1966年。1973年に財団法人に、2012年に公益財団法人となる。2013年に東海市、2016年に愛知県立芸術大学、2018年に豊田市と、それぞれ音楽教育の推進や文化芸術の振興を目的とした協定を締結している。

現在、意欲的なプログラミングの「定期演奏会」をはじめ、親しみやすい「市民会館名曲シリーズ」、障がいのある方を対象とした「福祉コンサート」など、バラエティに富んだ年間約110回の演奏会に出演している。



東海市子どものオーケストラ (管弦楽)

東海市芸術劇場が開館した2015年度より活動を行う、小学生から高校生までのオーケストラ。名古屋フィルハーモニー交響楽団の楽員を講師に迎え、楽器演奏の基礎からオーケストラ形態での合奏まで幅広く学ぶとともに、劇場主催公演では、ソリストやオペラ歌手、合唱団等と共演するなど、活動の幅を広げています。

劇場インフォメーション

～ひとづくりパートナーシップ・シリーズ～

笑う劇場 吉本新喜劇&バラエティ



2023年度公演より

2025年1月25日(土) ①12:30開演 ②16:30開演
東海市芸術劇場 大ホール

S席 ¥4,500 A席 ¥4,000 子ども ¥1,000
(5歳以上高校生以下)

ユウナルフレンドメンバーズ
プラチナ会員割引価格 S席 ¥4,050 A席 ¥3,600
子ども ¥900

出演者:調整中

チケット発売日: [先行] 10月19日(土) / [一般] 10月26日(土)



開館10周年プレ公演

スペシャル・ガラ・コンサート「オペラへの扉」



【チケット発売】
会員先行: 11月30日(土)
一般発売: 12月7日(土)

2025年3月9日(日) 15:00開演

東海市芸術劇場 大ホール

一般 ¥5,000 小中高生 ¥1,000 ※未就学児入場不可

ユウナルフレンドメンバーズ
プラチナ会員割引価格 一般 ¥4,500 小中高生 ¥900

出演: クリスティアン・アルミンク(指揮)、田崎尚美(ソプラノ)、
林美智子(メゾ・ソプラノ)、城宏憲(テノール)、上江隼人(バリトン)、
名古屋フィルハーモニー交響楽団(管弦楽)ほか

プログラム: ワーグナー/
楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」序曲ほか